



土岐市教育研究所
TEL 0572-54-1111 (内374)
FAX 0572-55-6310
メールアドレス kyoiku@city.toki.lg.jp
No. 587
発行責任者 所長 板倉 義樹
発行日 令和8年 5月 15日
題字 長谷川 広和 教育長



『学び合い』

撮影

泉中学校

高津 宏尚

教諭

「夢と目標」

土岐市教育研究所長 板倉 義樹

今年度より、第3次土岐市教育振興基本計画「夢・絆プラン」(令和8年度～令和12年度)がスタートしました。詳細については別頁にありますので省略しますが、基本理念「ふるさとの人々の絆を深め、夢と誇りを育み、自ら未来を切り拓く力を培う土岐の教育」をもとに、未来社会の担い手を育む教育を推進していきます。

「夢・絆プラン」とありますが、「夢」について考える機会があります。子どもたちが考える機会もあれば、先生自身が経験を語ったり、外部講師をお招きし、夢を抱いたきっかけや、実現へのプロセスについてお話を聞いたりすることがあるかもしれません。

全国学力・学習状況調査の質問紙調査の中には「将来の夢や目標をもっていますか」という質問項目がありますが、それぞれの夢や目標が、活動への意欲や熱量を生み出し、目的意識をもって学習や生活に取り組むことにつながります。

では、「夢」と「目標」の違いは何でしょうか。「夢」とは、「こうなりたい」「〇〇がしたい」という理想です。単に「職業」だけではなく、「なりたい自分」「自分が目指す理想の生き方」などです。長期的な視点で考えることかもしれません。それに対して「目標」とは、夢を実現するための具体的な計画です。いつまでに何をするのか、どちらかと言えば短期的な目標であり、学校では、「今日の目標」「学期の目標」「行事への目標」「今年の目標」ということとなります。その積み重ねが、理想として描く自

分や集団の姿につながっていきます。

アメリカ野球殿堂入りをしたイチロー氏は、その式典の中でこう語っています。「少年時代の夢はずっとプロ野球選手になることでした。6年生の時に作文にも書いたことがあります。もし、今日その作文を書き直すことが出来れば、「夢」ではなく「目標」という言葉を使います。「夢」は現実的とは限りません。でも「目標」は道筋を真剣に考えれば達成することは可能です。夢を想像することは楽しいですが、目標は困難でチャレンジングです。本気で何かを成し遂げたいなら、『やりたい』と思うだけでは足りません。目標を達成するために必要なことを、真剣に考えなければなりません。私は『プロ野球選手になるためには、毎日の練習と準備が大切』と書きました。目標を立て続けたことで、私は『継続が成功の土台となる』と気づきました。若い選手には大きな夢をもってほしい。でも同時に、夢と目標の違いも理解して欲しいと思っています。夢を目標に変えるには、目標を達成するには何が大事なのか自分に正直でなければいけません。」

今年度も、新しい学年での目標をもった子どもたち、教師になるという夢を実現した新規採用の先生方、今年はこんな学級にしたいという目標をもった先生方、こんな学校にしたいというビジョンをもった校長先生方など、願いや目標が詰まったスタートになっていることと思います。それぞれが夢につながる目標をもち、継続を大切にしながら、絆の中で力を高める1年としたいものです。



第3次「夢・絆プラン」スタート

土岐市教育委員会

長谷川 広和

■第3次「夢・絆プラン」

平成22年に土岐市教育振興基本計画「夢・絆プラン」を策定して16年。令和8年4月からの土岐市第七次総合計画を踏まえ、これまで大切にしてきた「夢・絆」をベースに、第3次土岐市教育振興基本計画「夢・絆プラン」をスタートさせました。令和8年度から令和12年度までの5年間の土岐市教育のロードマップです。

<基本理念>

【ふるさとの人の絆を深め、夢と誇りを育み、自ら未来を切り拓く力を培う土岐の教育】

学校、家庭、地域がつながり、それぞれの力を発揮して、喫緊の課題を解決しつつ、新しい時代に対応した教育を推進する。「夢・絆」を合言葉に、未来を担うひとづくりに取り組んでいきましょう。

■未来社会の担い手を育む

経営学者のドラッカーは著書「マネジメント」のなかで、3人の石工の話を紹介し、目的意識（意味付け）の大切さを説いています。

<3人の石工>

3人の石工の昔話がある。彼らは何をしているかと聞かれたとき、第一の男は、「これで暮らし（生計）を立てているのさ」と答えた。第二の男は、槌で打つ手を休むことなく、「国中で一番上手な石切りの仕事をしているのさ」と答えた。第三の男は、その眼を輝かせ、夢見心地で空を見上げながら、「多くの人の心の拠り所となる大寺院をつくらせているのさ」と答えた。

この逸話は仕事にどのような【意味付け】をするかを示している。単に稼ぐ手段と考えるのか、専門的なプロフェッショナル業務と考えるのか、自分の仕事がお客様の未来や人生につながっていると考えるか。どのような意識をもち、意味づけをするかで、同じ仕事でもまったく違う目的につながる。

第3次「夢・絆プラン」では、変化が目まぐるしく予測困難な社会を、たくましく生き抜いていくために、新たに3つの【育みたい力】を掲げました。

【自立】主体的に学び、考え、行動し、自分のよさや強みを実感し、自分の可能性を拓く

【共生】自分とは異なる他者とつながり協働し、互いを尊重し、認め合い、支え合う

【貢献】夢をもち、自分のよさや可能性をもとに地域社会の担い手となる意識の醸成

この3つの力をバランスよく身に付けるとともに、これらの力を発揮して、夢と誇りを抱いて、よりよい未来の実現に挑み続ける、そんな未来社会の担い手を育てていきたいと思ひます。先生方には、

『私たちは、未来をつくっているんだ』

そんな気概をもって、日頃から様々な場面で【自立】【共生】【貢献】の力を育むことを意識し、目の前の子どもたちが社会に出て、活躍する場面を想像しながら、授業や様々な活動で意味付けを大切にしていきたいと思ひます。

■子どもたちの現状として

令和7年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査の結果です。（肯定的な回答の割合）

◆将来の夢や目標を持っていますか

市	小82.5%	中59.1%
全国	小83.1%	中67.5%

◆地域や社会をよくするために何かしてみたいと思ひますか

市	小81.4%	中74.9%
全国	小81.3%	中75.3%

将来の夢や目標は全国平均より低いものの、地域や社会への貢献の意識は、全国平均とほぼ同じであり、日頃からふるさと学習など、地域の方々とのかわりなかで、地域社会への参画意識が醸成されていることがわかります。土岐市ならではの地域との豊かなかわり、人との絆の中で培われた貢献の意識を、自分のよさや可能性、自分の夢につなげていかなければと思ひます。

■本物と出会い、心を動かす

毎年、スポーツや芸術、学習などの分野で、自分が努力していることや将来の夢や目標を、目を輝かせて語る子に出会います。彼らはきっと「本物」に触れ、「本物」と向き合うなかで、自分の心が動く経験をしていると思ひます。私たちは、身近にある多くの「本物」との出会いやかわりを大切に、子どもと一緒に体験したり、追究したりして、子どもの中にある夢や目標につながる未来の種をじっくりと温め、育てていきたいと思ひます。

1 はじめに

土岐市の小中学校が、新年度としてスタートしました。新たな出会いと児童生徒の願いを大切に、私たちも取り組んでいきたいです。



2 変化の中を

昨今、世の中の変化は急速に進みました。特にICTの活用は、既に日常化し、教育現場での対話的AIの効果的な活用まで言及されています。「全ての子どもたちの可能性を引き出す『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現」は、私たちに授業観の変換を求めています。また、不適切指導の認識、不登校対策にみる学校の新たな機能や役割、さらに、特別支援教育、不祥事根絶、PTA、少子化による学校の統合問題など、私たちもICT同様に知識や認識をアップデートしていかなければなりません。

これまでの対応や最適解を求める中で、やはり「不易」なものもあるはずです。実際は、立ち止まっているわけにはいきません。やってみて気付かされることがあります。ねらいや効果を問い直し、変化を起こす勇氣、変えたことの中に「不易」なものがあったなら、立ち戻る勇氣、どちらも必要です。そこからどのように未来に向けて創り直していくかが、学校の挑戦だと思います。

3 土岐市校長会として

土岐市が抱える教育課題は、日本の教育課題と重なり、県や市の様々な方針や対策を受けて、各校でも取り組んでいるところです。土岐市の小中校長会として、現任校の課題解決だけでなく、土岐市の教育課題を教育委員会と共有し、共に考えていかなければなりません。そこで、土岐市の小中校長会の取組を一部紹介します。

(1) 三部会（研修部会）学校マネジメント

①学校経営部会

関係機関や企業等、様々な分野の方の話を聞き、学校経営に生かす理念・視点・実践を学び、課題解決に向けた連携を図ります。

②課題検討部会

「児童生徒数減少に伴う土岐市の学校の在り方」「『土岐市教育支援センター』の効果的な活用」「いじめ問題対応等の危機管理体制」「不登校児童生徒の校内支援体制」「教員体制」等の喫緊の課題について、研修や意見交流をし、要望も踏まえ検討します。

③人材育成部会

教職員が、モチベーションを高くもち、経験や能力に応じてキャリアアップを図り、やりがいをもって貢献できるよう、OJTによる若手やミドルリーダー、管理職の育成について研修します。

(2) 教育委員会、関係機関との連携

教育委員会と校長会役員との定期連絡会を行い、土岐市の教育課題の解決に向けた中長期的改革・改善についての意見交流、各種団体の活動への協力を検討します。

(3) 学校交流・小中別交流

組織や教育課程・生徒指導事案・教育相談事案体制や対応、未然防止体制・市内全校で統一する事柄の検討をします。

土岐市を本拠地とする13名の校長は、児童生徒、保護者、地域に信頼される学校、職員がやりがいのもてる学校をつくる、その責任を自覚し、「ともに学び、高め合う」校長会をめざします。

土岐市教育『夢・絆プラン』の概要

■ 計画の位置付け

- 教育基本法第17条を受けた国の教育振興基本計画—岐阜県教育ビジョン—土岐市教育振興基本計画
- 『第七次土岐市総合計画』の教育部門を引き継ぎ、土岐市の教育が目指す基本的な方向や具体的な施策を明らかにする計画

■ 計画の期間

- 令和8年度から令和12年度までの5年間

<基本計画>

■ 土岐市教育の現状と課題

- (1) 人口の減少による労働人口の低下、地域の教育力の低下、小規模化
- (2) 家庭環境の変化
- (3) インターネット環境の普及による、利用の低年齢化やトラブル、新しい技術への対応

■ <基本理念>

ふるさとの人の絆を深め 夢と誇りを育み、自ら未来を切り拓く力を培う土岐の教育

■ <基本目標>

互いを認め合い、主体的に学び、考え、行動する未来社会の担い手を育む教育の推進

■ <育みたい力>

自立 主体的に学び・考え・行動し、自分のよさや強みを実感し、自分の可能性を拓く

共生 自分とは異なる他者とつながり協働し、互いを尊重し、認め合い、支え合う

貢献 夢をもち、自分のよさや可能性をもとに地域社会の担い手となる意識の醸成



■ <基本施策>

基本施策1 主体的に学び、考え、行動する力の育成

- ◆『土岐市幼稚園・こども園、小・中学校教育の方針と重点』の具現
- ◆『主体的・対話的で深い学び』の実現
- ◆幼小『架け橋期』の連携の推進
- ◆自立につながるキャリア教育の推進
- ◆多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進

基本施策2 多様なニーズに対応する教育の推進

- ◆特別支援教育の推進
- ◆不登校の未然防止と迅速で組織的な対応
- ◆日本語指導が必要な外国人児童生徒教育の充実
- ◆困り感を抱える子どもと保護者への教育相談体制の充実
- ◆部活動地域展開の推進

基本施策3 豊かな心の育成

- ◆人権教育の推進
- ◆多様な他者と関わり合う集団活動の充実
- ◆道徳教育の充実
- ◆いじめ等の問題行動の未然防止と早期発見・早期対応の徹底
- ◆いのちの大切さを育む教育の充実
- ◆地域への愛着と誇りを育むふるさと教育の推進
- ◆読書に親しむ環境づくりと読書活動の推進

基本施策4 健やかな体の育成

- ◆運動好きな子どもの育成
- ◆安全・安心を守る教育の充実（防災教育・安全教育）
- ◆健康教育の推進
- ◆食育の推進
- ◆安全で確実なアレルギー対応食の提供

基本施策5 教育の質を高める教職員の資質・能力の向上

- ◆職務や経験年数に応じた研修、今日的課題に対応する研修の充実
- ◆実践的指導力を高める研修の充実
- ◆教職員のコンプライアンス意識の向上
- ◆広報活動の充実
- ◆働きやすい職場環境づくりの推進
- ◆幼稚園教諭・保育士・保育教諭の確保と資質向上（こども家庭課）

基本施策6 地域の教育力の向上と地域・学校・家庭の絆づくり

- ◆コミュニティ・スクールの推進
- ◆家庭教育を学ぶ機会の充実
- ◆『地域づくり型生涯学習』の推進（生涯学習課）
- ◆地域における豊かな体験の場、学習機会の提供（生涯学習課）

基本施策7 ICTの活用推進と環境整備

- ◆情報活用能力の育成
- ◆情報モラル教育の充実
- ◆ICTの環境整備と支援体制の充実

施策8 学びを支える教育環境の整備・充実

- ◆学校施設の整備・充実
- ◆危機管理体制の充実（通学路・防災）
- ◆小・中学校の適正規模・適正配置の検討
- ◆教育・保育施設の整備（こども家庭課）

■ 計画の推進と進行管理

- 計画の周知と市民意識の把握（広報活動、広聴活動）
- 進行管理（客観的かつ公正な点検・評価、必要に応じた内容の見直し）

「誰一人余すことのない」土岐市の全ての子どもたちを大切にする教育の推進へ

土岐市教育支援センター「IKOT・いこっと」

令和8年度「つながる・寄り添う・支え合う」

理念：土岐市教育支援センター「IKOT・いこっと」は、

悩みや困り感を抱える子どもたちや保護者の課題を整理し、課題の解決を関係諸機関との連携により支援し、子どもたちの社会的自立をめざす機関です。



【IKOTの4つの機能】

教育(発達)相談・検査機能 家庭児童相談機能	児童生徒や保護者の様々な相談をワンストップで受けとめます。課題を整理し、関係機関と連携を図りながら支援を行っていきます。
不登校支援機能	学校へ行きづらさを抱えている児童生徒やその保護者に対して、一人一人の実態に応じたきめ細かな支援を行っていきます。
外国人児童生徒支援機能	外国人児童生徒やその保護者を対象に、日本語指導や教育相談等を通して、安心して生活できるように支援を行っていきます。
教職員資質向上・相談機能	教職員に対して、教育相談、不登校支援、外国人児童生徒支援にかかる研修会などを行います。先生方への相談活動も行います。

一人一人の子どもやその保護者に、切れ目のない支援体制を築いていくために学校、先生方、関係機関との連携は不可欠です。どうぞよろしくお願いいたします。先生方が日頃の教育活動の中で、悩んでいることなども是非ご相談ください。 IKOT 相談窓口 0572-55-8555 (平日9:00~17:00)



【令和8年度 IKOTの職員】 よろしくお願ひします。

所長(板倉次長が兼務) 副所長(小池) 事務(志水)

SSW(永治) 不登校支援コーディネータ(河地) 外国人児童生徒支援コーディネータ(林)

教育相談アドバイザー(渡邊・安藤か) 不登校支援員(水野杏) 日本語指導員(加藤・水野明)

カウンセラー(戸田・櫛田) 指導員(知原・村上・上野)



令和8年度 土岐市小中学校教育研究会 各部会のテーマ

部会	部会のテーマ	
小 学 校 教 科 研	国語	生きてはたらく言語能力を高める国語科学習 ～楽しくて、力がつく言語活動の工夫～
	社会	よりよい社会の実現をめざす子が育つ社会科学習 ～子どもが社会とつながる授業を通して～
	算数	見方・考え方を働かせ、数学的に考える児童を育てる指導の在り方
	理科	自ら問題を科学的に解決することができる子の育成を目指した理科学習
	音楽	楽しさと確かさの中に美しさを求める子をめざして ～「やってみたい」を引き出し「できた」「わかった」と実感できる授業の実現～
	図工	感性を働かせ、つくる喜びを実感する子どもの育成～「思い」をもち、創造的に追求する授業づくり～
	家庭	自ら学び実践し生活をよりよくしようと工夫する子の育成
	体育	仲間と共に運動の楽しさや喜びを味わう体育学習の創造
	英語	外国語を通してコミュニケーション能力の素地・基礎を養う指導の在り方
中 学 校 教 科 研	国語	生きてはたらく言語能力の育成
	社会	主体的に社会の形成に参画する力を育てる社会科学習
	数学	「できた」「わかった」を実感させる数学教育の創造
	理科	科学的な探究を楽しむ生徒の育成 ～生徒の目線に立ち、一人一人の探究をつなぐことを通して～
	音楽	楽しさと確かさの中に美しさを求める子をめざして ～「やってみたい」を引き出し「できた」「わかった」と実感できる授業の実現～
	美術	感性を働かせ、つくる喜びを実感する子どもの育成～「思い」をもち、創造的に追求する授業づくり～
	技家	未来を切り拓く確かな実践力の育成 ～見方・考え方を働かせた、課題解決を図る指導を通して～
	保体	「生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む資質や能力を育てる体育授業」 ～主体的・対話的で深い学びを通して～
英語	「できた」「わかった」を実感しながら、コミュニケーションに挑み続ける生徒を育てる指導を求めて	
特 別 支 援	小	豊かな生活を目指し、生きる力を共に高める子どもたち ～一貫性・柔軟性のある、支援体制・支援方法の一層の充実に焦点を当てて～
	中	豊かな生活を目指し、生きる力を共に高める子どもたち ～一貫性・柔軟性のある、支援体制・支援方法の一層の充実に焦点を当てて～
	通級	一人一人の特性をふまえた通級での指導のあり方
各 種 研	養教	自分や相手のからだと心、いのちを大切にできる子の育成 ～いのちの教育を通じて～
	事務	子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務 ～研修を通じた知識・経験の共有による、主体的な校務運営参画への推進～
	栄養	生涯にわたり健康な生活を送るための食育の推進 ～主体的に学び実践する児童生徒の育成～

令和8年度 教育研究所の事業紹介

今年度も教育研究所では、教職員と子どもたちが様々な力を高めることができるように、下記のような事業によって園や学校の教職員と子どもたちを支援します。



1 訪問・派遣事業

土岐市研究推進指定園・学校事業
「市教育の方針と重点」及び園・学校の教育目標の具現を目指した計画的な研究推進を補助すると共に、その研究成果を土岐市内外に広めます。 【園教育研究】 泉小附属幼稚園〈発表〉 【学校課題解決】 駄知小学校・駄知中学校〈初年指定〉 下石小学校・妻木小学校・西陵中学校〈中間報告〉 濃南小・中学校〈発表〉 【授業改善〔東教推指定〕】 泉中学校〈初年指定〉 【学級経営〔東教推指定〕】 駄知小学校〈初年指定〉
幼稚園・こども園・学校訪問
園・学校の教育目標及び「市教育の方針と重点」の具現状況と、教育課程の編成及び実施状況を把握し、今後の園・学校教育の充実に向けた改善策、方向性を確認します。
教職員資質向上サポート事業
経験年数6年目までの教職員が自信をもって職務に向かいながら、授業の指導力を高め、キャリアアップにつながるように支援します。

その他に、ALT派遣事業、「はつらつ人材バンク」派遣事業等があります。

2 研修事業

マイプラン研修
幼稚園・こども園の教職員を対象として、個人または園の研究主題に基づいた主体的な研修を行い、日常の保育実践に生かすことによって教職員の資質向上を図ります。
課題解決委員会
児童生徒の体力向上に関する課題解決を目指し、市内小中学校から選ばれた4名の先生を中心として、先進的な授業実践に取り組みます。実践については、「教育とき」等を通じて市内に発信していきます。
教育実践論文・実践記録
園や学校の教職員が、論文や記録として日々の研究実践をまとめる過程を通して、指導力や論理力を高めます。
サマーセミナー
こども園体験、運動指導などの市の重点課題や、生成AI等で今日的課題についての研修機会を確保します。

その他に、学力向上推進委員会、ICT教育企画委員会・ICT教育推進委員会、オンライン研修、各種主任研修会等があります。

3 児童生徒能力開花応援事業

各種講座
小・中学生を対象として、子どもたちの興味・関心や技能、表現力等を高めることができるように、7～8月に様々な講座を設けます。



「念ずれば通ず」

濃南中学校 教頭 山田 鏡一

母の三回忌に、四国八十八か所巡りを思い立った。存命中の母が「念ずれば通ず」と巡礼していたことを思い出した。半分以上は観光だと思っているが・・・夜明けに起きだして、毎日規則正しくお参りを続けていると、「あれ?(私は)いつからこんなにも信心深くなったのだろうか?」と勘違いするようになってきた。白衣(びやくえ)に輪袈裟(わげさ)姿・金剛杖を持って身なりを整え、本堂・大師堂の順でろうそく・線香・納め札・お賽銭を納め、読経を繰り返す。最後に納経帳に記帳して頂き、次の札所へ向かう。お庭を眺めたり、お仲間達と話したり、息抜きも交えて同じルーティーンを繰り返すことで、雑多な日々の疲れや困難な事柄から解放され、心身が洗われ清められていく思いがした。そして「お遍路と学校はちょっと似ているな。」とも感じた。

学校も制服や体操服を整えて、授業のはじまり終わりに礼を繰り返し、決められたルールや時間を守って同じ動きを繰り返す。納経帳は読書カードや長距離走記録カードとよく似ていて、目標を

可視化でき、やり遂げた満足感を得ることができ

る。一見不必要に感じられる決まりもある。「健脚なのにどうして杖を持って歩くのですか?」と返答に窮する場合もあるが、「実は〇〇という理由があるんです。」本当によくできている。順打ち(順回り)や逆打ち(逆回り)・通し打ちや区切り打ち・高野山回りなど、数々のギミックが設定されていて、何度も行きたくなる・・・。学校も通級指導教室やIKOTなど様々な通い方が増えた。「おかげさま(お蔭様)で」という気持ちや、お遍路を支える地域の伝統的な「お接待」の文化は、学校運営協議会の仕組みにも映る。

「念ずれば通ず」母は決して神仏にすがって生きていたわけではない。物見遊山的な楽しみも交えて、家族の健康や幸せを願ってくれていたことであろう。私も子どもたちの目標や願いがかなえられるように、日々のお勤めに励みたい。

掲 示 板

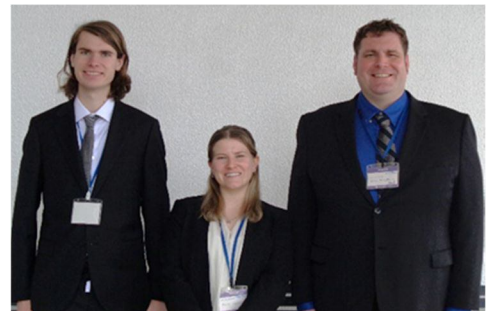
【教育研究所】板倉所長をはじめ、新しいメンバーを3人迎えました。よろしくお願いいたします。



前列左から 安藤 亮 (指導主事)
小栗 典子 (同)
板倉 義樹 (研究所長)
早瀬 浩孝 (研究所主任)
奥谷 治由 (指導主事)
後列左から 熊谷 裕子 (事務職員)
林 奨司 (嘱託指導主事)
古川 直利 (同)
小木曾 寛美 (同)

【ALT】

イアン・エドワーズ (左)
肥田小・肥田中・土岐津小・土岐津中
アリッサ・マルケイヒー (中央)
泉小・泉西小・妻木小・下石小・西陵中
ウィリアム・スワン (右)
濃南小中・駄知小・駄知中・泉中・IKOT
●幼稚園・こども園にも行かせていただきます。



「教育とき」は 土岐市HP・ロイロノート(土岐市のアカウントをお持ちの方)でもご覧になれます。